

## 第二章 整備工事の内容

### 第一節 整備事業の計画

#### 第一項 工事に至る経過

正倉院正倉は、明治十七年以降宮内省（現在は宮内庁）により管理されてきており、大正二年に解体修理が行われて以来、大きな修理もなく、現在に至っていた。

今回の整備工事は、平成七年三月に正倉院正倉の現況点検調査が宮内庁正倉院事務所によって実施されたことに始まる。この調査は、文化財建造物に詳しい有識者三名（鈴木嘉吉前奈良国立文化財研究所長、岡田英男奈良大学文化財学教授、小林章男株式会社瓦宇工業所代表、肩書はすべて当時）に調査を依頼したもので、木組や瓦のずれ・破損などを対象とした。おもに目視による観察を中心とした調査であり、屋根については、地上からの観察に留めた。このとき「木造建造物の場合、ほぼ百年毎に修理を行う必要があるが、正倉の場合は朽損が進行すると天平創建当時の部材まで取り替えを迫られることとなる。かかる事態を招かないためにも遅くとも一〇年後くらいまでには修理を終えた方がよい」という調査報告がなされ、宮内庁は、正倉院正倉の整備工事にかかる準備に入った。

そんな中、平成九年には、国宝の指定を受け、世界遺産「古都奈良の文化財」の構成要素ともなった。

その後、平成十年度に「伝統的木造建築物の耐震劣化のための基礎調査業務」（宮内庁京都事務所）、平成十四年度に「正倉院正倉修復計画に伴う予備調

査業務」（宮内庁管理部工務課）、平成十六年度に「正倉院正倉修復計画に伴う第一回詳細調査業務」（宮内庁管理部工務課）が財団法人建築保全センターにより実施され、正倉の詳細な状況が把握された。この中では、構造補強計画の資料を得るための地盤調査や振動解析なども行われた。

この後、宮内庁長官発令により平成十九年に学識経験者六名を交えた正倉院正倉整備に関する懇談会を組織し、整備内容などについて幅広い意見聴取（指導・助言）を行いながら、平成二十一年度に「正倉院正倉整備に関する基本設計」、平成二十二年度に「正倉院正倉整備に関する実施設計」を行った。基本設計業務は、総合評価方式による一般競争入札を行い、公益財団法人文化財建造物保存技術協会が落札した。実施設計は、基本設計との関連が大きいとして、同協会と契約した。

#### 第二項 修理方針

屋根葺替、部分修理（小屋組補強、校木隙間補修など）とした。  
正倉には仮設の素屋根（覆屋）を設け、全体を保護しながら工事を行った。素屋根建設時に支障となる宝庫西門及びその脇の土塀は一旦解体格納し、素屋根解体後に復旧した。

建物は、軸組はしっかりしており、解体を要するほどの破損には至っていなかったが、軒の通りに不陸が生じていた。屋根瓦については、経年による瓦のずれや破損が目立っていた。そのため修理は、屋根の本瓦葺の葺き替えを主とし、軒の垂下を現状より大きくしないための小屋組補強も行った。そのほか、校木の隙間や土間の破損部分、束柱の箍の補足などの補修を行った。

## 第三項 正倉院正倉整備に関する懇談会

正倉院正倉の整備に関しては、事前に行った各種調査業務の内容を議論し、整備計画を進めるため、宮内庁長官発令により有識者を交えた懇談会が組織された。この懇談会は、定期的に会合を開催し、整備工事着手後も整備内容について文化財建造物としての歴史的及び技術的な意見を伺うため継続して行われ、合計で一四回にわたり開催した。

## 一 正倉院正倉整備に関する懇談会会員

正倉院正倉整備に関する懇談会は、外部有識者六名及び宮内庁担当部局長四名、合計一〇名により構成された。外部有識者には、宮内庁長官より「懇談会参加」を依頼した。

鈴木嘉吉 奈良県文化財保護審議会 元会長  
 金多 潔 京都大学名誉教授  
 坂本 功 東京大学名誉教授  
 上原真人 京都大学大学院 教授  
 藤井恵介 東京大学大学院 教授  
 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 建造物研究室長  
 窪寺茂(平成十九～二十年)、島田敏男(平成二十一～二年度)、林良彦(平成二十三年度以降)  
 宮内庁管理部長  
 宮内庁書陵部長  
 宮内庁京都事務所長  
 宮内庁正倉院事務所長  
 後に、専門部会開催にあたり、宮内庁長官より以下の外部有識者に「専門部会参加」を依頼した。

中村 一 京都大学名誉教授  
 尼崎博正 京都造形芸術大学 教授

## 二 正倉院正倉整備に関する懇談会会合

## (一) 会合の開催

定期的な懇談会の会合は、宮内庁管理部長が招集した。

## (二) 会合の出席者

懇談会会員（外部有識者六名、宮内庁職員四名）。

右記懇談会会員に加え、宮内庁から管理部管理課長、管理部工務課長、京都事務所工務課長、書陵部図書課長、正倉院事務所保存課長、関係省庁から文化庁文化財部参事官（建造物担当）担当官が出席した。

なお、文化庁文化財部参事官（建造物担当）の担当官は、第一～二回が坊城俊成文化財調査官、第二～三回及び五～七回が村田健一文化財主任調査官、第四回が田中禎彦文化財主任調査官、第八～一四回が熊本達哉文化財主任調査官であった。

## 三 各懇談会の概要

第一回正倉院正倉整備に関する懇談会

日 時 平成十九年九月五日

場 所 宮内庁庁舎

出席者 鈴木会員ほか会員九名及び文化庁・宮内庁関係者

議 題 ①正倉院正倉の概要説明

②整備計画及び懇談会に至るまでの経緯報告

③整備計画のスケジュール

④現在までの調査状況報告

## 第二回正倉院正倉整備に関する懇談会

日時 平成二十年二月一日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員ほか会員九名及び文化庁・宮内庁関係者

議題 ①現状図面照合について

②現状の劣化調査について

ア 内部劣化状況

イ 軒架構・床構造の概略検討

ウ 外部劣化状況

エ 建物変形測定結果について

## 第三回正倉院正倉整備に関する懇談会

日時 平成二十年八月二十日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員ほか会員九名及び文化庁・宮内庁関係者

議題 ①瓦についての説明

②木工事についての説明

③束柱についての説明

## 第四回正倉院正倉整備に関する懇談会

日時 平成二十一年三月二十六日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員ほか会員九名及び文化庁・宮内庁関係者

議題 ①現地調査概要

②瓦等試験結果について

③瓦下地の状況について

④屋根瓦葺替計画について

⑤現状瓦の再使用計画について

⑥補足瓦製作計画のための調査

## 第五回正倉院正倉整備に関する懇談会

日時 平成二十一年十二月十八日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員ほか会員九名及び文化庁・宮内庁関係者

議題 ①正倉院正倉整備に関する基本設計業務の状況報告

②正倉軒先垂下の矯正手法検討についての報告

③今後の正倉の耐震性解析方法についての報告

## 第六回正倉院正倉整備に関する懇談会

日時 平成二十二年三月十六日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員ほか会員九名及び文化庁・宮内庁関係者

議題 ①正倉軒先垂下原因の力学的考察について

ア 応力解析結果

イ 現状実測結果

ウ 変位量の推定

エ 修繕及び補強の方針

②正倉院正倉整備に関する基本設計業務成果報告

## 第七回正倉院正倉整備に関する懇談会

日時 平成二十二年十二月十七日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員ほか会員九名及び文化庁・宮内庁関係者

議題 ① 実施設計業務等のプロセス報告について

ア 工程表の再検討

イ 予算要求の概要

ウ 実施設計業務の契約

エ 専門部会について

② 実施設計業務成果報告

ア 瓦の修理方針について

イ 軒の構造補強について

ウ 仮設計画について

第八回正倉院正倉整備に関する懇談会

日時 平成二十三年九月三十日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員ほか会員八名及び文化庁・宮内庁関係者

議題 ① 正倉院正倉整備工事契約状況等報告

ア 施工業者選定のプロセス及び工事設計監理業務の契約について

イ 工事概要について

ウ 工事設計監理業務について

エ 専門部会について

② 工事実施計画について

ア 現場体制及び工程計画について

イ 総合仮設計画について

ウ 時刻歴応答解析方法の提案について

③ 正倉現場公開についての報告

第九回正倉院正倉整備に関する懇談会

日時 平成二十四年三月六日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員ほか会員九名及び文化庁・宮内庁関係者

議題 ① 工事進捗状況・経過報告

ア 工事の経緯について

イ 専門部会等懇談会会員の個別指導について

ウ 平成二十四年度の工事計画について

② 補足瓦の製作について

ア 補足瓦のサンプルについて

イ 瓦製作等の今後の予定について

③ 小屋組補強方法について

④ 現場公開状況の報告について

第一〇回正倉院正倉整備に関する懇談会

日時 平成二十四年九月十一日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員ほか会員八名及び文化庁・宮内庁関係者

議題 ① 工事進捗状況及び経過報告

ア 工事進捗状況報告

イ 専門部会

ウ 専門部会とは別に各会員に求めた助言

エ 専門部会等懇談会会員の個別指導の概要報告

オ 平成二十四年度後半の工事計画について

② 解体した瓦の概要及び補足瓦とその葺き方について

ア 解体した瓦の概要

## 第一回正倉院正倉整備に関する懇談会

日時 平成二十五年三月七日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員ほか会員九名及び文化庁・宮内庁関係者

議題 ① 工事進捗状況及び経過報告

ア 工事進捗状況報告

イ 専門部会

ウ 平成二十五年以降の工事計画について

② 屋根瓦について

ア 再用瓦配置案及び数量

イ 本瓦葺による屋根荷重

ウ 鬼瓦・鳥衾瓦の修理について

エ 棟熨斗瓦について

③ 構造補強等について

ア 小屋組補強金物概要

イ 束柱箍の状況

ウ 地震時時刻歴応答解析の報告

イ 本瓦葺及び土居葺の状況

ウ 補足瓦について

エ 再用瓦の配置案

オ 葺き方について

③ 小屋組補強について

ア 軒の垂下の状況

イ 小屋組補強方法について

④ 現場公開状況の報告について

## 第二回正倉院正倉整備に関する懇談会

日時 平成二十五年八月二十一日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員ほか会員九名及び文化庁・宮内庁関係者

議題 ① 工事進捗状況及び経過報告

ア 工事進捗状況報告

イ 専門部会

ウ 平成二十五年年度の工事計画について

② 屋根瓦について

ア 鬼瓦と鳥衾瓦について

イ 棟積について

ウ 再用瓦の配置報告

エ 不再用瓦の取り扱い報告

③ 補強後における各種測定結果について

ア 軒の垂下の測定結果について

イ 第三回常時微動測定結果について

④ 現場公開状況の報告について

④ 現場公開状況の報告について

## 第一三回正倉院正倉整備に関する懇談会

日時 平成二十六年一月二十四日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員ほか会員八名及び文化庁・宮内庁関係者

議題 ① 工事進捗状況及び経過報告

ア 工事進捗状況報告

イ 専門部会

ウ 平成二十六年年度の工事計画について

② 屋根瓦葺きについて

ア 新規補足瓦と再用瓦の最終数量について

イ 正倉屋根荷重について

③ 補強後における各種測定結果について

ア 軒の垂下の測定結果について

イ 第四回常時微動測定結果について

④ 設備関係について

ア 火災報知設備新規設置等について

⑤ 現場公開状況の報告について

第一四回正倉院正倉整備に関する懇談会

日時 平成二十六年十月二十四日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員ほか会員七名及び文化庁・宮内庁関係者

議題① 工事進捗状況及び経過報告

ア 工事進捗状況報告

イ 専門部会

② 正倉の人力加振の解析結果

③ 現場公開状況の報告

第四項 正倉院正倉整備に関する懇談会専門部会

整備工事の期間中は、前項に記した懇談会のほかに専門的な内容について指導頂くために、個別の専門部会を必要に応じて開催した。専門部会で協議された内容が懇談会に報告され、さらに議論が深められた。

一 専門部会の開催と出席者

(一) 専門部会の開催

随時開催された専門部会は、宮内庁京都事務所長が招集した。

(二) 出席者

議題に応じた懇談会会員、専門部会会員及び京都事務所長が必要と認める者。

二 各専門部会の内容

第一回専門部会

日時 平成二十三年九月七日

場所 宮内庁京都事務所

出席者 鈴木会員・金多会員 宮内庁関係者

議題① 正倉院正倉整備に関する懇談会第八回会合を開催するにあたり事前打合せ

② 正倉院正倉整備工事の契約状況等報告

③ 工事実施計画について

④ 正倉現場公開についての報告

第二回専門部会

日時 平成二十三年十月六日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 中村会員・尼崎会員 宮内庁関係者

議題 ① 工事に伴う樹木の伐採・復旧等への助言

② 杉本神社の杉に関する助言

#### 第三回専門部会

日時 平成二十三年十二月五日

場所 宮内庁庁舎

出席者 坂本会員 宮内庁関係者

議題 ① 正倉院正倉整備に関する懇談会第八回全体会合の報告

② 時刻歴応答解析に関する地震動作成の進捗状況

③ 小屋組の解析に関する件

#### 第四回専門部会

日時 平成二十四年一月二十四日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 中村会員・尼崎会員 宮内庁関係者

議題 ① 杉本神社の杉について

② 正倉周辺の樹木のあり方について

#### 第五回専門部会

日時 平成二十四年二月二十一日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員・金多会員・上原会員 宮内庁関係者

議題 ① 正倉院正倉整備に関する懇談会第九回会合を開催するにあ

たり事前打合せ

② 現場確認

③ 生型の瓦当文様確認

#### 第六回専門部会

日時 平成二十四年三月二十二日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員・金多会員・林会員 宮内庁関係者

議題 ① 小屋組補強検討結果（四隅部）確認

② 時刻歴応答解析の経過報告

③ 人力加振について

#### 第七回専門部会

日時 平成二十四年三月二十九日

場所 宮内庁庁舎

出席者 坂本会員 宮内庁関係者

議題 ① 第六回専門部会の報告

② 時刻歴応答解析に関する地震動作成の進捗状況

③ 小屋組の検討状況について報告

#### 第八回専門部会

日時 平成二十四年七月六日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員・上原会員 宮内庁関係者

議題 ① 新規製作瓦等について



第九回専門部会

日時 平成二十四年八月七日  
場所 宮内庁正倉院事務所  
出席者 鈴木会員・金多会員 宮内庁関係者  
議題 ① 正倉模型に示した補強案について

第一〇回専門部会

日時 平成二十四年八月二十四日  
場所 宮内庁正倉院事務所  
出席者 林会員 宮内庁関係者  
議題 ① 解体した瓦の概要及び補足瓦の葺き方について  
② 小屋組補強方法について

第一一回専門部会

日時 平成二十四年八月二十七日  
場所 宮内庁正倉院事務所  
出席者 鈴木会員・金多会員 宮内庁関係者  
議題 ① 正倉院正倉整備に関する懇談会第一〇回会合を開催するにあたり事前打合せ  
② 解体した瓦の概要及び補足瓦の葺き方について  
③ 小屋組補強方法について

第一二回専門部会

日時 平成二十五年一月十六日  
場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員・上原会員 宮内庁関係者  
議題 ① 再用瓦の葺き方について

② 鬼瓦・鳥衾瓦の修理について  
③ 不再用瓦について

第一三回専門部会

日時 平成二十五年一月二十五日  
場所 宮内庁正倉院事務所  
出席者 鈴木会員・金多会員・坂本会員・林会員 宮内庁関係者  
議題 ① 時刻歴応答解析について  
② 風荷重に対する提案について  
③ 床面新規構造材より台輪を吊っているボルトについて  
④ 束柱の箍について

第一四回専門部会

日時 平成二十五年二月十五日  
場所 宮内庁正倉院事務所  
出席者 鈴木会員・金多会員 宮内庁関係者  
議題 ① 正倉院正倉整備に関する懇談会第一一回会合を開催するにあたり事前打合せ

第一五回専門部会

日時 平成二十五年三月一日  
場所 宮内庁正倉院事務所  
出席者 中村会員・尼崎会員 宮内庁関係者



議題 ① 樹木の管理について

第一六回専門部会

日時 平成二十五年五月十五日

場所 宮内庁正倉院現場事務所

出席者 鈴木会員・上原会員・林会員 宮内庁関係者

議題 ① 瓦座について

② 竹の挿入について

③ 新規鬼瓦について

④ 棟積について

⑤ 大梁吊り金物について

⑥ 校木隙間状況について

⑦ 台輪吊りボルトについて

⑧ 校木交差部の補修について

⑨ 補強後の軒レベル計測結果の報告

第一七回専門部会

日時 平成二十五年六月二十七日

場所 山本瓦工業工場

出席者 鈴木会員・上原会員 宮内庁関係者

議題 ① 東北隅二の鬼瓦と鳥衾瓦の形状、再用瓦の配置について

② 鬼瓦・鳥衾瓦について

③ 鬼瓦・鳥衾瓦の銘文について

第一八回専門部会

日時 平成二十五年七月三十日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員・金多会員 宮内庁関係者

議題 ① 正倉院正倉整備に関する懇談会第一二回会合を開催するに

あたり事前打合せ

② 不再用瓦の取り扱いについて

③ 補強後における各種測定結果について

④ 屋根瓦葺きについて

⑤ 中倉二階校木隙間埋めについて

⑥ 隅丸瓦の確認

⑦ 大棟原寸模型について

⑧ 屋根瓦葺きの施工状況

第一九回専門部会

日時 平成二十五年十一月十二日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 金多会員・上原会員 宮内庁関係者

議題 ① 瓦葺きの経過報告等について

② 束柱の箍について

③ 避雷針について

第二〇回専門部会

日時 平成二十五年十二月二十日

場所 宮内庁正倉院事務所

出席者 鈴木会員・金多会員・林会員 宮内庁関係者  
議題 ① 正倉院正倉整備に関する懇談会第一三回会合を開催するに  
あたり事前打合せ

第二一回専門部会

日時 平成二十六年三月十四日  
場所 宮内庁正倉院事務所  
出席者 中村会員・尼崎会員 宮内庁関係者  
議題 ① 樹木の手入れ等について

第二二回専門部会

日時 平成二十六年九月十一日  
場所 宮内庁正倉院事務所  
出席者 中村会員・尼崎会員 宮内庁関係者  
議題 ① 樹木移植等について

第二三回専門部会

日時 平成二十六年九月十七日  
出席者 金多会員 宮内庁関係者  
日時 平成二十六年九月二十二日  
出席者 鈴木会員・坂本会員 宮内庁関係者  
場所 宮内庁京都事務所  
議題 ① 含水率計測調査の結果について



図12 第4回専門部会現地指導



図10 第12回正倉院正倉整備に関する懇談会の現地指導



図11 第13回正倉院正倉整備に関する懇談会の様子

## 第二節 整備工事の実施

### 第一項 事業の運営と経過

整備工事は、宮内庁の直轄工事として、総事業費八〇一、九五一、九〇〇円、工事期間三九箇月とし、平成二十三年八月十一日より四箇年の継続事業として着手した。事業の運営は、文化財保護法等の関係法規に準拠して、宮内庁管理部と宮内庁京都事務所の連携のもとに行った。工事に至るまでの調査は宮内庁管理部工務課が主体となり担当した。工事の設計及び監理は宮内庁京都事務所が担当し、建築工事は工務課建築係が行い、土木、設備及び庭園の各工事は工務課の土木係、設備係並びに林園課の庭園係が担当した。

工事の設計監理は、基本設計を総合評価方式で落札した公益財団法人文化財建造物保存技術協会と契約し業務を委託した。設計監理期間四一箇月とし、平成二十三年八月二十四日より四箇年にわたる国債にて予算執行を行った。同協会は、指定された管理技術者と共に、意匠に関する主任技術者が業務を監督し、解体および組立の主要期間には技術職員を一名常駐させ、設計監理に当たった。主任技術者および技術職員は、建物の破損調査や各部の仕様調査、痕跡手法等調査、技法調査、文献調査、その他必要な調査を行い、それぞれを調査にまとめた。また、修理前実測図や竣工図、その他必要な図面を作製した。作製図面は四〇枚とし、保存用図面はケント紙にプリンターにより打ち出した。写真撮影は、修理前、竣工および工事中に必要な記録写真を撮影した。

工事の進捗は、工事監理報告書として月ごとに提出した。また、工事完了後、工事の概要を銅板に陰刻し、正倉中倉のガラス戸付陳列棚に据え置いた。

工事の施工はすべて請負工事とし、平成二十三年七月に総合評価方式による一般競争入札を行なった結果、清水建設株式会社が落札し、工事契約を締結し

た。同年八月より整備工事に着手した。各年度で解体調査による成果を反映し、設計変更を行った。全事業は、当初の予定通り、工事が平成二十六年十月十七日に、設計監理が同年十二月十九日に完了した。

また、正倉の修理に伴い、正倉周辺の土塀（屋根葺替及び部分修理、一部解体修理）並びに宝庫西門（解体修理）及び杉本神社（屋根葺替及び塗装修理）の修理を行い、東門は門扉を新造した。

さらに、正倉周辺に埋設されている消火管が経年により劣化している恐れがあったため、消火管の取替工事も同時に行った。

なお業務完了後、工事の概要、各調査結果を編集し、諸記録を掲載した整備記録を刊行した。図版写真についてはコロタイプ印刷とし、配布は普及活用の適正化を図るよう配慮して決定した。



図13 東門門扉の新造



図14 新造された東門門扉

第二項 工事関係者

一 宮内庁

○本庁

長官

風岡典之

同前任

羽毛田信吾

次長

山本信一郎

同前任

風岡典之

○管理部

管理部長

佐藤和寿

同前任

岡 弘文

同

鈴木 武

同

折笠竹千代

同

田林 均

管理課長

石原秀樹

同前任

板谷英彦

同

和地國夫

同

玉生一美

同

橋之口文夫

工務課長

辻川孝夫

同前任

巽 耕一

課長補佐

高島泰久

同前任

橋本雄二

同

町田英夫

○書陵部

書陵部長

牧野尊行

同前任

佐藤和寿

同

岡 弘文

○京都事務所

同

本田清隆

同

鈴木 武

同

折笠竹千代

図書課長

阿部秀明

同前任

石原秀樹

同

牧野尊行

京都事務所長

坪田眞明

同前任

北 啓太

同

下均

次長

川嶋眞明

同前任

安田 勉

同

土谷精一

庶務課長

津田勝博

同前任

谷嘉一郎

同

今井貞夫

専門官

中坊 智

同前任

足立利雄

同

小川明彦

庶務係長

宇谷康友

工務課長

三橋康男

同前任

久米 守

同

富澤宏氏

専門官

早川賢一

専門官

藤瀬勝彦

専門官

枝尾 徹

	専門官	大井康雄
	同前任	佐藤 亘
	同	三橋康男
	同	久米 守
	建築係長	藤瀬勝彦
	同前任	北 育央
	同	岩村正一
	同	藤瀬勝彦
	建築係員	上田拓也
	建築係員	久米 守
	同前任	高橋純一郎
	土木係長	坂口直人
	同前任	枝尾 徹
	設備係長	大井康雄
	設備係員	奥 善行
	林園課長	小林 保
	専門官	今井昌彦
	庭園係長	寺内俊之
	主査	荒川 歩
	庭園係員	山本修次
	同前任	角 哲也
○正倉院事務所	正倉院事務所長	杉本一樹
	同前任	北 啓太
	庶務課長	谷嘉一郎
	同前任	津田勝博

二 設計監理業務

	庶務係長	今村浩明
	同前任	福富 彰
	渉外係長	汐崎勝次
	同前任	今村浩明
	保存課長	西川明彦
	同前任	成瀬正和
	同	杉本一樹
	整理室長	田中陽子
	同前任	尾形充彦
	室員	佐々田悠
	調査室長	飯田剛彦
	同前任	西川明彦
	保存科学室室員	吉川也志保
公益財団法人文化財建造物保存技術協会	理事長	佐々木正峰
	会長(前任)	濱島正士
	管理技術者	近藤光雄
	同前任	賀古唯義
	主任技術者	春日井道彦
	担当技術者	布施直樹
	設計担当者	富沢 晃
	設計担当者	辻田芳典
	担当者	稲田朋実
	担当者	菊田大典
協力事務所	株式会社ホンマアーキライフ	



三 調査業務（基礎・予備、詳細）

財団法人建築保全センター

理事長（当時）

清水令一郎

四 施工業者

清水建設株式会社

代表取締役社長

大阪支店長

大阪支店奈良営業所所長

大阪支店奈良営業所工事長

東京支店社寺建築・住宅部長

現場代理人及び監理技術者

監理技術者

設計本部構造設計部設計長

設計本部構造設計部設計長

技術研究所 首席研究員

関西事業本部営業部課長

木工事

株式会社尾田組

社長

尾田芳信

現場代理人

大工

平川善久

屋根工事

山本瓦工業株式会社

会長

山本清一

社長

山本博志

鬼師

鈴木啓之

瓦葺工

山本政典

瓦研究員

芦田淳一

（土居葺）

株式会社村上社寺工芸社

社長

村上英明

左官工事

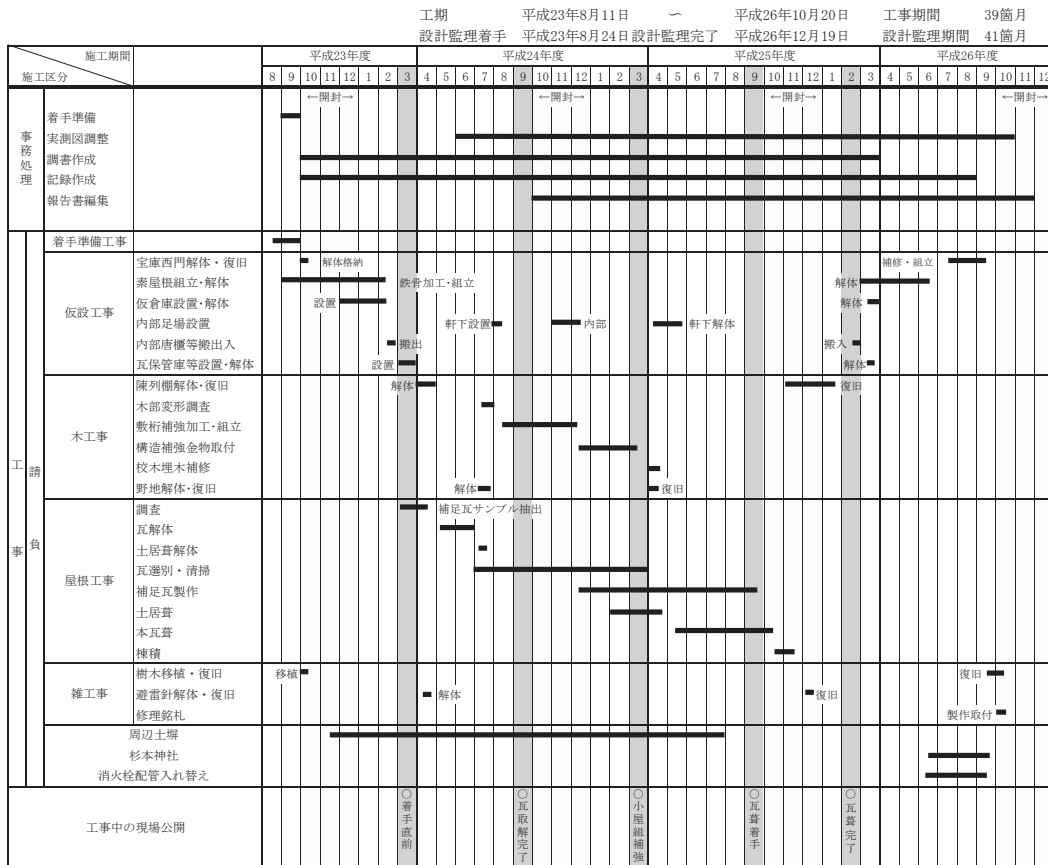
株式会社中西組

社長

中西啓介

株式会社本間利雄設計事務所

第三項 工事実施工程



## 第四項 工事費

## 総事業費

正倉整備工事の部	八〇一、九五一、九〇〇円
仮設工事	六九六、五三一、九〇〇円
木工事	二九三、三七三、九〇〇円
屋根工事	六九、一〇六、九〇〇円
その他工事	一六二、六〇四、三〇〇円
設備工事	三一、五二三、七〇〇円
宝庫西門解体復旧工事	八、二一一、六〇〇円
正倉周辺土塀修理工事	八、〇七三、三〇〇円
杉本神社修理工事	六九、九五七、七〇〇円
消火栓配管取替工事	一三、七〇二、七〇〇円
設計監理の部	三九、九七七、八〇〇円
工事設計監理費	一〇五、四二〇、〇〇〇円
予備調査費（平成十四年度）	五一、一三五、〇〇〇円
詳細調査費（平成十六年度）	四、九三五、〇〇〇円
基本設計費（平成二十一年度）	二二、〇五〇、〇〇〇円
実施設計費（平成二十二年度）	六、六一五、〇〇〇円
	二〇、六八五、〇〇〇円

## 第五項 現場公開

宮内庁では、工事期間中に正倉の修理状況を一般市民に広く知っていただくため、五回に渡って現場公開を行い、延べ二二、〇七三人に修理工事の様子を見ていただくことができた。

現場公開は、一回につき三日間（第五回のみ五日間）行った。葉書による申し込み制とし、新聞や宮内庁のホームページで呼びかけた。見学時間を九時・一〇時・一一時・一二時・一三時・一四時・一五時の計七回に分けて募集した。定員は、一回目と二回目は各回二〇〇人で一日一、四〇〇人、三回目以降は各回二四〇人で、一日一、六八〇人とした。葉書一通で申し込める人数は六人までとし、第一回は小学五年生以上を応募対象としたが、二回以降は小学四年生以上と改めた。

公開の現場では、修理中の正倉を見ていただくことはもちろんのこと、工事の概要やそのときの施工状況に応じた展示を行い、修理工事に対する理解を深めていただけるよう工夫した。また、見学後、アンケートを募集し、一般市民の声を次の公開に活かすよう心掛けた。



図15 第1回現場公開の様子



表1 正倉の現場公開展示等一覧

	公開期日	見学者数	工事の状況	展示内容
総計 一一、〇七三	第一回現場公開 平成二十四年三月 三月 十六日(金) 三月 十七日(土) 三月 十八日(日)	計三、六九三名 一、二四二名 一、一九五名 一、二五六名	屋根本瓦葺解体前の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>概要揭示(工事概要一枚、平面図一枚、断面図一枚、年表一枚)</li> <li>写真揭示(正倉正面一枚、内部一枚、小屋組二枚、大正二年工事八枚)</li> <li>小屋組模型(説明写真とも)一台</li> <li>屋根面瓦時代別表示</li> </ul>
	第二回現場公開 平成二十四年九月二十一日(金) 九月二十二日(土) 九月二十三日(日)	計三、七二一名 一、二七八名 一、二一六名 一、二二七名	屋根本瓦葺が解体され、一部野地廻りが捲られている状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>概要揭示(工事概要一枚、平面図一枚、断面図一枚、年表一枚)</li> <li>写真揭示(正倉正面一枚、内部一枚、小屋組二枚、大正二年工事八枚)</li> <li>小屋組模型(説明写真とも)一台</li> <li>在来瓦展示(鬼瓦八個、鳥衾瓦八本、丸瓦四枚、平瓦四枚)</li> <li>補足瓦展示(軒丸瓦一本、軒平瓦一枚、丸瓦一本、平瓦一枚)</li> <li>成型台等展示、瓦展示関連写真説明</li> <li>屋根面開口部小屋組説明</li> <li>ビデオ放映(工事状況)</li> </ul>
	第三回現場公開 平成二十五年三月 三月 十五日(金) 三月 十六日(土) 三月 十七日(日)	計四、一一〇名 一、三八一名 一、三四九名 一、三八〇名	屋根本瓦葺施工前で、ほぼ土居葺が完了した状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>概要揭示(工事概要一枚、平面図一枚、断面図一枚、年表一枚)</li> <li>写真揭示(正倉正面一枚、内部一枚、小屋組二枚、大正二年工事八枚)</li> <li>小屋組模型(説明写真とも)一台</li> <li>在来瓦展示(丸瓦一本、平瓦二枚、隅巴瓦二本)</li> <li>補足瓦展示(軒丸瓦一本、軒平瓦一枚、丸瓦一本、平瓦一枚)</li> <li>成型台等展示、瓦展示関連写真説明</li> <li>屋根面開口部小屋組説明</li> <li>屋根面瓦葺仮葺き(再用瓦・土葺、補足瓦・空葺)</li> <li>ビデオ放映(工事状況)</li> </ul>
	第四回現場公開 平成二十五年八月 八月三〇日(金) 八月三十一日(土) 九月一日(日)	計四、〇一六名 一、三六四名 一、三三三名 一、三一九名	屋根平瓦葺がほぼ完了した状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>概要揭示(工事概要一枚、平面図一枚、断面図一枚、年表一枚)</li> <li>写真揭示(正倉正面一枚、内部一枚、小屋組二枚、大正二年工事八枚)</li> <li>小屋組模型(説明写真とも)一台</li> <li>大棟棟積模型(説明写真とも)一台</li> <li>在来瓦展示(鬼瓦八個、鳥衾瓦一本)</li> <li>補足瓦展示(鬼瓦一個、鳥衾瓦四本)</li> <li>瓦展示関連書き等写真説明</li> <li>中倉内見学</li> <li>屋根面瓦葺仮葺き(再用瓦・土葺、補足瓦・空葺)</li> <li>屋根面瓦時代別表示</li> <li>ビデオ放映(工事状況)</li> </ul>
	第五回現場公開 平成二十六年二月 二月 七日(金) 二月 八日(土) 二月 九日(日) 二月 十日(月) 二月 十一日(火)	計六、五三三名 一、三八二名 一、〇九六名 一、三一九名 一、三七八名 一、三五八名	屋根本瓦葺が完了した状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>概要揭示(工事概要一枚、平面図一枚、断面図一枚、年表一枚)</li> <li>写真揭示(正倉正面一枚、内部一枚、小屋組二枚、大正二年工事八枚)</li> <li>写真揭示(工事工程二枚)</li> <li>小屋組模型(説明写真とも)一台</li> <li>大棟棟積模型(説明写真とも)一台</li> <li>在来瓦展示(軒丸瓦六本、軒平瓦六枚、丸瓦二本、平瓦五枚)</li> <li>瓦展示関連書き等写真説明</li> <li>瓦を触る体験</li> <li>在来瓦(丸瓦四本、平瓦四枚)</li> <li>補足瓦(軒丸瓦一本、軒平瓦一枚、丸瓦一本、平瓦一枚)</li> <li>中倉内見学</li> <li>構造金物展示(大正二年の工事時に使用された構造金物)</li> <li>屋根面瓦時代別表示</li> <li>ビデオ放映(工事状況)</li> </ul>



図17 第5回現場公開の「瓦を触る体験」の様子



図16 第4回現場公開の展示の様子